



平成25年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年2月1日

上場取引所 東

上場会社名 アシードホールディングス株式会社

コード番号 9959 URL <http://www.aseed-hd.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 寺地 實

問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員経営企画グループ担当 (氏名) 橋本 義徳

TEL 084-923-5552

四半期報告書提出予定日 平成25年2月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第3四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第3四半期	25,442	△3.9	635	△3.3	608	△4.8	385	△13.2
24年3月期第3四半期	26,468	17.2	656	44.0	638	50.2	444	58.5

(注) 包括利益 25年3月期第3四半期 369百万円 (△16.4%) 24年3月期第3四半期 441百万円 (92.6%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第3四半期	58.85	—
24年3月期第3四半期	66.89	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年3月期第3四半期	16,057	4,253	26.5	652.05
24年3月期	16,451	4,056	24.7	614.79

(参考) 自己資本 25年3月期第3四半期 4,253百万円 24年3月期 4,056百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	8.00	—	8.00	16.00
25年3月期	—	8.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	10.00	18.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

平成25年3月期 期末配当金の内訳 普通配当 8円00銭 記念配当 2円00銭 (創立40周年記念配当)

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	34,500	1.6	620	7.6	610	7.9	400	8.4	60.31

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期3Q	6,747,624 株	24年3月期	6,747,624 株
② 期末自己株式数	25年3月期3Q	224,729 株	24年3月期	148,843 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期3Q	6,554,095 株	24年3月期3Q	6,640,652 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この決算短信は、金融商品取引法に基づく監査手続の対象外であり、この決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく財務諸表の監査手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいております。実際の業績等は、予想に内在する様々な不確定要因や、事業運営における状況変化等によって大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8
(5) セグメント情報等	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災からの復興需要を背景として穏やかな回復傾向にあるものの、欧州の金融不安による海外景気の減速や長引く円高等の影響により、景気の先行きは依然として不透明な状況で推移いたしました。

自販機オペレーター（運営リテイル）業界におきましては、自販機のロケーションや設置台数の飽和状態が続くなか、過剰な設置競争や取引条件競争に加え、業種業態を超えた価格競争の激化に伴う収益性の低下などにより、業界再編が一段と加速化しております。また、原発事故を起因とした電力供給問題が引き続き社会的な関心を集めるなか、自販機産業もこれまでの量的拡大から大きく転換し、環境との調和を重視した質的向上が強く求められております。このような状況のなか、当社グループでは政策的に不採算自販機の撤去を進めるとともに、フルライン自販機の推進により過剰に設置された自販機の集約化を図りました。また、自社ブランド商品の育成に注力して中長期を見据えた収益構造改革に取り組みました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高25,442百万円（前年同四半期比3.9%減）、営業利益635百万円（同3.3%減）、経常利益608百万円（同4.8%減）、四半期純利益385百万円（同13.2%減）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

① 自販機運営リテイル事業

賃金が長期的に低迷するなか、復興増税や来年の消費税率の引上げ懸念等により、消費者の節約志向は根強く、オフィスや公共施設等を中心に自販機1台当たりの売上高は引き続き低下傾向にあります。このような状況のなか、当社グループでは不採算自販機の計画的な撤去を進めるとともに、消費者ニーズに即した付加価値の高い商品を1台に集約して提供する「フルライン自販機」の推進と自社ブランド商品の育成に取り組みました。

この結果、自販機運営リテイル事業の売上高は15,902百万円（前年同四半期比5.3%減）、営業利益は451百万円（同12.7%減）となりました。

② 飲料製造事業

春先の天候不順による気温低下の影響や前年の震災特需の反動に加え、長期的なデフレによる消費者心理の冷え込み等もあり、飲料製造事業は厳しい状況で推移いたしました。このような状況のなか、ブランドオーナーに対し高品質で価格訴求力の高い清涼飲料と低アルコール飲料を積極的に企画・提案するとともに、自社ブランド飲料の製造・販売の強化と経費削減に取り組みました。

この結果、飲料製造事業の売上高は9,166百万円（前年同四半期比0.4%減）、営業利益は281百万円（同1.5%増）となりました。

③ 飲料サービスシステム事業

遊技場等のお客様に対して、カップ飲料自販機のサービス価値を向上させる「アオンズ・カードシステム」の導入強化に取り組みました。なお、当第3四半期連結累計期間より、アオンズカードの有効期限を従来よりも短い期限（実態の使用期間）に設定することとしました。このため、発行済みの長期未回収カードが失効し、仕入原価の低減が発生しております。

この結果、飲料サービスシステム事業の売上高は321百万円（前年同四半期比25.6%減）、営業利益は102百万円（同121.2%増）となりました。

④ 不動産運用事業

広島県福山市の賃貸駐車場と賃貸収益ビル、山口県周南市及び広島市西区の賃貸事務所兼倉庫、佐賀県佐賀市の貸店舗等の稼働の結果、不動産運用事業による売上高は52百万円（前年同四半期比6.0%増）、営業利益は87百万円（同17.0%増）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は、6,634百万円となり、前連結会計年度末に比べ334百万円減少いたしました。これは現金及び預金の減少553百万円及び商品及び製品の増加219百万円等によるものです。また、固定資産は9,423百万円となり、前連結会計年度末に比べ、59百万円減少いたしました。これは建物及び構築物（純額）の減少50百万円、土地の減少40百万円、リース資産（純額）の減少85百万円、のれんの減少53百万円、投資有価証券の減少58百万円及び長期前払費用の増加240百万円等によるものです。

この結果、総資産は16,057百万円となり、前連結会計年度末に比べ394百万円減少いたしました。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は9,236百万円となり、前連結会計年度末に比べ169百万円減少いたしました。これは短期借入金の増加455百万円、1年内返済予定の長期借入金の減少389百万円、未払金の減少280百万円及び未払法人税等の増加43百万円等によるものです。また、固定負債は2,567百万円となり、前連結会計年度末に比べ421百万円減少いたしました。これは長期借入金の減少398百万円及びリース債務の減少55百万円等によるものです。

この結果、負債合計は11,803百万円となり、前連結会計年度末に比べ590百万円減少いたしました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は4,253百万円となり、前連結会計年度末に比べ196百万円増加いたしました。これは四半期純利益による増加385百万円、自己株式の取得による減少68百万円及び剰余金の配当による減少105百万円によるものです。

この結果、自己資本比率は26.5%（前連結会計年度末は24.7%）となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

連結業績予想につきましては、平成24年5月11日の「平成24年3月期 決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
(減価償却方法の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

なお、この変更による当第3四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,675,376	1,121,643
受取手形及び売掛金	2,276,030	2,182,749
商品及び製品	1,082,245	1,301,661
原材料及び貯蔵品	208,948	213,469
前払費用	1,111,011	966,505
繰延税金資産	62,681	33,046
その他	559,168	821,877
貸倒引当金	△6,523	△6,888
流動資産合計	6,968,939	6,634,064
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,261,522	1,210,602
機械装置及び運搬具(純額)	461,533	452,842
工具、器具及び備品(純額)	26,756	25,084
土地	3,819,750	3,779,081
リース資産(純額)	1,062,268	976,653
建設仮勘定	14,186	18,408
有形固定資産合計	6,646,017	6,462,673
無形固定資産		
のれん	572,997	527,995
リース資産	39,940	34,791
その他	30,213	30,976
無形固定資産合計	643,151	593,764
投資その他の資産		
投資有価証券	511,926	453,021
長期貸付金	33,392	32,708
長期前払費用	932,598	1,173,329
繰延税金資産	145,501	166,221
その他	601,135	574,706
貸倒引当金	△30,983	△33,257
投資その他の資産合計	2,193,571	2,366,729
固定資産合計	9,482,740	9,423,167
資産合計	16,451,679	16,057,231

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	2,846,023	2,875,659
短期借入金	2,895,000	3,350,000
1年内返済予定の長期借入金	1,136,809	747,018
リース債務	369,486	331,141
未払金	1,100,207	820,178
未払法人税等	103,236	146,808
未払消費税等	98,304	74,082
繰延税金負債	108	60
賞与引当金	130,961	56,882
その他	726,314	834,827
流動負債合計	9,406,451	9,236,659
固定負債		
長期借入金	1,592,334	1,193,811
リース債務	828,770	773,724
再評価に係る繰延税金負債	41,564	41,564
退職給付引当金	119,768	124,941
役員退職慰労引当金	166,480	161,480
資産除去債務	2,800	2,800
その他	236,628	269,000
固定負債合計	2,988,346	2,567,322
負債合計	12,394,798	11,803,981
純資産の部		
株主資本		
資本金	798,472	798,472
資本剰余金	1,012,778	1,012,778
利益剰余金	2,946,149	3,226,810
自己株式	△102,827	△170,876
株主資本合計	4,654,572	4,867,184
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△51,200	△67,527
土地再評価差額金	△544,561	△544,561
為替換算調整勘定	△1,928	△1,845
その他の包括利益累計額合計	△597,690	△613,935
純資産合計	4,056,881	4,253,249
負債純資産合計	16,451,679	16,057,231

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
売上高	26,468,170	25,442,405
売上原価	17,395,115	16,537,819
売上総利益	9,073,054	8,904,585
販売費及び一般管理費	8,416,654	8,269,551
営業利益	656,400	635,034
営業外収益		
受取利息	4,925	4,240
受取配当金	5,664	6,805
不動産賃貸料	8,520	4,332
受取賃貸料	15,190	13,204
受取補償金	—	1,177
受取保険金	19,764	1,032
その他	37,566	27,707
営業外収益合計	91,632	58,501
営業外費用		
支払利息	76,996	67,454
その他	32,481	17,928
営業外費用合計	109,478	85,383
経常利益	638,553	608,153
特別利益		
固定資産売却益	24,081	7,307
投資有価証券売却益	—	25,130
負ののれん発生益	21,622	—
その他	84	—
特別利益合計	45,788	32,437
特別損失		
固定資産売却損	—	5,953
固定資産除却損	11,701	1,153
減損損失	1,186	2,918
投資有価証券売却損	—	5,547
役員退職慰労金	7,000	—
災害による損失	3,720	—
その他	—	66
特別損失合計	23,608	15,639
税金等調整前四半期純利益	660,734	624,951
法人税、住民税及び事業税	93,986	220,607
法人税等調整額	122,525	18,620
法人税等合計	216,512	239,228
少数株主損益調整前四半期純利益	444,221	385,723
四半期純利益	444,221	385,723

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	444,221	385,723
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△8,457	△16,326
土地再評価差額金	6,005	—
為替換算調整勘定	7	82
その他の包括利益合計	△2,445	△16,244
四半期包括利益	441,776	369,479
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	441,776	369,479

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

(セグメント情報)

I 前第3四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	自販機運営 リテイル事業	飲料製造事業	飲料サービス システム事業	不動産運用 事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	16,785,720	9,201,089	431,761	49,599	26,468,170	—	26,468,170
セグメント間の内部 売上高又は振替高	80,975	521,780	3,403	116,671	722,830	△722,830	—
計	16,866,695	9,722,869	435,164	166,270	27,191,001	△722,830	26,468,170
セグメント利益	516,925	277,249	46,453	74,731	915,359	△258,959	656,400

- (注) 1. セグメント利益の調整額△258,959千円には、セグメント間取引消去18,575千円、のれんの償却額△7,522千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△270,012千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。
2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	自販機運営 リテイル事業	飲料製造事業	飲料サービス システム事業	不動産運用 事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	15,902,101	9,166,361	321,380	52,562	25,442,405	—	25,442,405
セグメント間の内部 売上高又は振替高	64,507	668,245	2,262	115,359	850,374	△850,374	—
計	15,966,608	9,834,606	323,643	167,921	26,292,779	△850,374	25,442,405
セグメント利益	451,042	281,343	102,752	87,469	922,607	△287,573	635,034

- (注) 1. セグメント利益の調整額△287,573千円には、セグメント間取引消去△2,291千円、のれんの償却額△7,522千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△277,759千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。
2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの資産に関する情報

前連結会計年度の末日に比して、当第3四半期連結会計期間末の報告セグメントごとの資産の金額が著しく変動しております。その概要は以下のとおりです。

「飲料サービスシステム事業」におきまして、セグメント資産の金額が著しく減少しております。これは「アオンズ・カードシステム」で利用されるカードの有効期限の失効に伴うものであります。これによる「飲料サービスシステム事業」におけるセグメント資産の減少額は30,661千円であります。